

道

2023年11月15日
(第104号)



岡山県真庭市・徳山神社



岡山県真庭市・神庭の滝

天気予報を見ようと思って、スマホを手にする。「LINE 未読メッセージ」3」が目に入った。指が勝手に動いて確認している。そこに講演会の案内があった。興味あるテーマだ。スケジュールを見ると空いている。主催者のサイトを開いて参加を申し込む。二つ目のメッセージはスルー。三つ目には、自作の写真スタンプで返信する。ついでに、メールアプリをチェック。知人からのメール、後で返信しよう(※①)。次のメール、大事そう。念のため添付ファイルを「メモ」に保存しよう。よし。スマホを閉じる。……うん？ 何か忘れている。そうだ、天気だ。▼忘れる。いろんなことを忘れる。同時に二つのことができな。あることをして、別のことに手をつけたら、前のことを忘れてる。大事なこともでも忘れる。しょっちゅうだ。(※②) ▼スケジュールは手帳で管理している(※③)。いろんなことがデジタルに変わってもこれはアナログだ。そして、予定を手帳に書き入れたら僕の頭にはほとんど残らない。手帳が命綱。しかし、問題が起こる。手帳に書いてあるのに、見忘れて重要な集まりに遅れて恥ずかしい思いをした。同じようなことが、何度か続く。▼そこで、スマホの「アラーム」機能を利用するようになった。合わせた時間にアラームが鳴る。手帳と二重で管理。でも、これで済むわけがない。そもそも、様々な「忘れる」に全部対応することなどできない。▼身にまとった鎧を脱ぐように発想を変えてみる(※④)。忘れるのは仕方がない。手帳やスマホに頼らずとも忘れないことがある。それこそが、ほんとうに大事なことでは。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

電話：090-5366-1497

メール：michi-care@outlook.jp

ホームページ：https://michi-care.jimdo.com/

〈道〉LINE：https://lin.ee/zCG7Iyp



林道也

※①「後で」が曲者で、忘れることも度々。ごめんなさい。

※② 何かを取りに来たけど忘れ、元の所へ戻ると思い出す、なんて、何年前からか。

※③ ほぼ20年この方、同じ種類のカレンダー手帳を利用する。見開きで2週間の予定が書き込める。同じ大きさの自由記載手帳と併用。

※④「身にまとった鎧を脱ぐ」は、尹雄大:著『聞くこと、話すこと。』27頁から拝借。